

- 問1 幕末にアメリカやイギリスなどとの貿易が本格化した際、輸出額が非常に多かった品目と、その貿易が国内経済に与えた影響の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2020年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 武器や軍艦が主要な輸入品となり、国内の武士階級の経済力が向上した。 | 2. 綿織物が主要な輸出品となり、国内の綿作農家が大きな利益を得た。 | 3. 生糸が主要な輸出品となり、国内では品不足による物価の上昇を招いた。 | 4. 米が主要な輸出品となり、地主が富を蓄えて地方の近代化が急速に進んだ。 |
|--------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|
- 問2 幕末の開国にともなって外国との貿易が始まると、日本の国内経済には大きな変化が生じました。この時期、人々の生活が苦しくなった主な原因として正しい説明はどれですか。 (2024年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 外国から安価な製品が大量に流入したことで国内の産業が衰退し、深刻な物価の下落が発生して失業者が増えたため。 | 2. 幕府が貿易を完全に独占して国内流通を制限したため、商品の流通がストップし、全国的な飢饉が発生したため。 | 3. 外国貨幣が大量に持ち込まれたことで日本の貨幣価値が極端に高まり、庶民が国内の物資を購入できなくなったため。 | 4. 生糸や茶などの生活関連品が大量に輸出されたことで国内が品不足となり、物価が急激に上昇したため。 |
|--|--|--|--|
- 問3 日本の歴史において、政治の実権や文化の担い手は時代とともに変化してきました。次の歴史的な場面のうち、鎌倉時代に一遍が地方の武士の館を訪れ、新しい仏教の形を広めていった背景や様子を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 藤原道長のような有力な貴族が、天皇を自らの屋敷にもてなすことで摂関政治の全盛期を築いた。 | 2. 念仏を唱えながら踊る「踊念仏」を通じて、貴族だけでなく地方の武士や民衆の間にも信仰が広まった。 | 3. 応仁の乱において足軽と呼ばれる歩兵が大量に動員され、従来の集団戦のあり方が大きく変化した。 | 4. 幕末の社会不安の中で、民衆が「ええじゃないか」と歌い踊りながら各地で騒動を引き起こした。 |
|---|--|--|---|
- 問4 19世紀の日本の外交に関する年表において、1854年の日米和親条約による開港地に続いて、1858年に結ばれた条約によって新たに開港することが決められた場所の組み合わせはどれですか。 (2024年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------------|-----------|----------|
| 1. 門司・釜山 | 2. 神奈川（横浜）・長崎 | 3. 鹿児島・那覇 | 4. 下田・箱館 |
|----------|---------------|-----------|----------|
- 問5 19世紀半ばのアメリカ合衆国では、奴隷制の拡大をめぐる自由貿易を主張する南部と、保護貿易を主張する北部の対立が激化し、南北戦争が始まりました。この戦争の最中に「奴隷解放宣言」を出し、国家の統一を維持しようとした大統領は誰ですか。 (2017年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------|----------------|---------------|------------------|
| 1. エイブラハム・リンカン | 2. オリバー・クロムウェル | 3. ジョージ・ワシントン | 4. トーマス・ジェファークソン |
|----------------|----------------|---------------|------------------|
- 問6 1853年に浦賀へ来航したアメリカのペリーが、翌1854年に再び来航した際、江戸幕府との間で締結した条約の名称として正しいものを選択してください。 (2020年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|-----------|-------------|-------------|
| 1. 日米和親条約 | 2. 日米地位協定 | 3. 日米安全保障条約 | 4. 日米修好通商条約 |
|-----------|-----------|-------------|-------------|
- 問7 1840年に清とイギリスの間で起きた戦争で、大国であった清が敗北したという知らせは江戸幕府に大きな衝撃を与えました。この戦争をきっかけに、幕府がそれまでの「異国船打払令」を改めて、外国船に燃料や水を与えて帰す方針とした際に発令した法令を選びなさい。 (2017年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|----------|-----------|-----------|
| 1. 天保の薪水給与令 | 2. 武家諸法度 | 3. 公事方御定書 | 4. 慶安の御触書 |
|-------------|----------|-----------|-----------|
- 問8 1858年に日本がアメリカと結んだ日米修好通商条約には、日本にとって不利な不平等条項が含まれていました。この条約において、日本国内で罪を犯したアメリカ人を日本の法律で裁くことができず、アメリカの領事が裁判を行うことを認めた権利を何といいますか。 (2017年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|--------|----------|----------------|
| 1. 最恵国待遇 | 2. 租借権 | 3. 関税自主権 | 4. 領事裁判権（治外法権） |
|----------|--------|----------|----------------|
- 問9 1859年の開港後、幕末の日本国内では生糸や米などの物価が急激に上昇し、庶民の生活が圧迫されました。このような事態を招いた直接的な原因として、当時の流通の状況を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2017年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 貿易商人が輸出用の商品を確保するために国内産品を買い占め、国内市場で品不足が発生したため | 2. 幕府が外国との戦争に備えるため、生糸や米などの主要な物資をすべて買い上げ、輸出を禁止したため | 3. 外国から安価な綿製品が大量に輸入されたことで、国内の綿織物業が衰退し生産が止まったため | 4. 海外から大量の金が入ったことで国内の貨幣価値が相対的に上がり、物価のバランスが崩れたため |
|---|---|--|---|
- 問10 徳川慶喜が、政権を朝廷に返上する「大政奉還」を行った背景にある政治的な狙いとして最も適切な説明はどれですか。 (2022年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 将軍の地位を世襲から選挙制に変更し、諸大名の互選によって新しい幕府の代表者を決める制度を導入しようとした。 | 2. 武力討幕を計画していた勢力から名分を奪い、返上後も徳川氏を中心とする新しい政治体制を築こうとした。 | 3. 外国の圧力に屈して全ての開港場を閉鎖し、再び鎖国体制を徹底させることで国内の支持を得ようとした。 | 4. 朝廷の権威を完全に否定し、徳川氏による独裁体制をより強固なものにするために反対勢力を一掃しようとした。 |
|--|--|---|--|
- 問11 幕末の政治的な混乱を招いた「桜田門外の変」が起きた理由として、最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 異国船打払令を緩めた幕府が、外国船の日本近海への接近を許し、沿岸の警備が手薄になったことに武士たちが憤ったため。 | 2. 大老の井伊直弼が、天皇の許可（勅許）を得ないまま日米修好通商条約を締結し、反対派を安政の大獄で厳しく処罰したことに反発が高まったため。 | 3. 将軍が政権を朝廷に返す大政奉還を表明したことに納得がいかない武士たちが、幕府を存続させるために実力行使に出たため。 | 4. 日米和親条約によって下田・函館の2港が開港された際、外国との貿易による物価高騰に苦しむ農民たちが幕府への不満を爆発させたため。 |
|---|--|--|--|
- 問12 1858年の日米修好通商条約締結後、幕末の日本における輸入統計をみると、1865年には特定の国が輸入相手国の約83パーセントという圧倒的なシェアを占めていました。その国名と、当時その国から大量に輸入され、輸入総額の急増を招いた主な品目の組み合わせとして正しいものを選択してください。 (2021年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------|-----------|-------------|---------------|
| 1. 中国（清）、毛織物 | 2. フランス、茶 | 3. イギリス、綿織物 | 4. アメリカ合衆国、生糸 |
|--------------|-----------|-------------|---------------|
- 問13 1857年から1861年にかけて、江戸幕府はイギリス、アメリカ、ロシアなどの国々と条約を締結し、貿易が本格的に始まりました。これらの国々と結んだ通商条約において、日本側の主権が制限されていた内容の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2026年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 日本に外交権がなく、相手国に港の永久割譲を認める内容 | 2. 日本に関税自主権がなく、相手国に領事裁判権を認める内容 | 3. 日本に土地所有権がなく、相手国に軍隊の駐留権を認める内容 | 4. 日本に貨幣製造権がなく、相手国にキリスト教の布教義務を認める内容 |
|-------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|-------------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 生糸が主要な輸出品となり、国内では品不足による物価の上昇を招いた。	幕末の貿易において、生糸は茶と並ぶ最大の輸出品でした。海外での需要が高まったことで、多くの生糸が輸出に回されましたが、その結果として国内向けの流通量が減少し、価格が急騰しました。こうした物価の上昇や経済の混乱は、当時の幕府に対する人々の不満を強める要因の一つとなりました。なお、米騒動や地主による買い占めは、より後の時代の出来事や異なる背景によるものです。
問2	答え 4 生糸や茶などの生活関連品が大量に輸出されたことで国内が品不足となり、物価が急激に上昇したため。	開国後の貿易では、生糸や茶などが主要な輸出品となりましたが、これらが大量に海外へ流出したことで国内向けの物資が不足しました。また、金と銀の交換比率が内外で異なっていたことから大量の金が国外へ流出し、それに対応するために幕府が質の劣る貨幣を発行したことも、さらなる物価の上昇（インフレーション）を招く要因となりました。このように物資の不足と貨幣制度の混乱が重なったことで、庶民の生活は非常に苦しくなりました。
問3	答え 2 念仏を唱えながら踊る「踊念仏」を通じて、貴族だけでなく地方の武士や民衆の間にも信仰が広まった。	鎌倉時代には、それまでの貴族中心の仏教とは異なり、民衆や地方武士の救済を目指す新しい仏教（鎌倉新仏教）が誕生しました。時宗を開いた一遍は、日本各地を遊行し、武士の館を訪れたり「踊念仏」を行ったりすることで、教えを全国に広めました。これは、武士が社会の主要な担い手として台頭してきた時代の変化を反映しています。
問4	答え 2 神奈川（横浜）・長崎	日米修好通商条約では、貿易を行う拠点として神奈川（横浜）、長崎、新潟、兵庫（神戸）の開港と、江戸・大坂の市場開放が定められました。それ以前の日米和親条約で開港されていたのは下田と箱館でしたが、修好通商条約による横浜の開港に伴い、下田の港は閉鎖されることになりました。
問5	答え 1 エイブラハム・リンカン	19世紀、工業化が進み奴隷制に反対する北部と、広大な農地での綿花栽培のために奴隷制を維持したい南部との間で南北戦争が勃発しました。リンカンは連邦の分裂を阻止するために戦い、1863年に奴隷解放宣言を行いました。これにより、戦争の目的が奴隷制廃止という人道的な大義名分を持つようになり、北部の勝利に大きく貢献しました。
問6	答え 1 日米和親条約	ペリーの再来航を受けて江戸幕府が締結したこの条約により、長年続いていた「鎖国」が終わりを告げ、日本は開国することとなりました。1858年に締結され、貿易の開始や領事裁判権などを定めた日米修好通商条約とは、時期や内容が異なる点に注意が必要です。
問7	答え 1 天保の薪水給与令	19世紀半ば、アヘン貿易をめぐる対立から清とイギリスの間でアヘン戦争が勃発しました。この戦争で清が敗れたという情報を得た江戸幕府は、従来の強硬な「異国船打払令」を続けることでイギリスなどの強力な軍力を持つ国と紛争になることを恐れ、1842年に「天保の薪水給与令」を出しました。これにより、日本近海に現れた外国船を無差別に攻撃するのではなく、薪や水、食料を与えて穏やかに退去させる方針へと転換しました。
問8	答え 4 領事裁判権（治外法権）	日米修好通商条約で認められたこの権利は、外国人が滞在先の国の法律に従わなくてもよいという特権です。これにより、日本国内で外国人が事件や犯罪を犯しても日本の裁判所が裁くことができず、日本の司法権（主権）が侵害される不平等な状態となりました。明治政府はこの条約を改正し、法的な自律性を取り戻すことを外交の最優先課題としました。
問9	答え 1 貿易商人が輸出用の商品を確保するために国内産品を買い占め、国内市場で品不足が発生したため	開港によって自由な貿易が始まると、海外で需要の高い生糸や、人々の生活に欠かせない米などが輸出に回されるようになりました。特に、利益を狙った貿易商人たちがこれらの商品を国内で買い占めて輸出したため、日本国内の市場に出回る量が極端に少なくなる「品不足」の状態に陥りました。需要に対して供給が追いつかなくなったことで物価が跳ね上がり、都市部の住民や農民の生活は非常に苦しくなりました。
問10	答え 2 武力討幕を計画していた勢力から名分を奪い、返上後も徳川氏が中心となる新しい政治体制を築こうとした。	当時、薩摩藩や長州藩は武力で幕府を倒そうとしていました。慶喜は先手を打って政権を返すことで討伐の口実をなくし、諸侯会議などの新しい仕組みの中で、最大の領主である徳川氏が実質的な主導権を握り続けようと画策しました。
問11	答え 2 大老の井伊直弼が、天皇の許可（勅許）を得ないまま日米修好通商条約を締結し、反対派を安政の大獄で厳しく処罰したことに反発が高まったため。	1858年に大老の井伊直弼は、天皇の許可を得ずに日米修好通商条約を締結しました。これに対して反対の声が上がると、井伊は「安政の大獄」で反対派の武士や公家を厳しく弾圧しました。この強権的な手法に対する激しい怒りが、1860年の桜田門外の変という暗殺事件を引き起こす要因となりました。
問12	答え 3 イギリス、綿織物	幕末の開国後、日本は欧米諸国と通商条約を締結して貿易を開始しましたが、最大の貿易相手国となったのはイギリスでした。当時のイギリスは産業革命を経て、機械による大量生産が可能な工業国となっていたため、安価な綿織物や毛織物を日本へ大量に輸出しました。一方で、日本からの輸出品は生糸や茶が中心でした。
問13	答え 2 日本に関税自主権がなく、相手国に領事裁判権を認める内容	イギリスなどの欧米列強と結んだ安政の五カ国条約は、日本にとって不平等なものでした。具体的には、輸入品にかかる税率を日本が自主的に決められない「関税自主権の欠如」と、外国人が日本で犯罪を犯してもその国の領事が裁判を行う「領事裁判権（治外法権）の承認」が含まれていました。この時期のイギリスは、インド大反乱を鎮圧してアジア支配を強めるなど、世界的な影響力を持っていました。